

長野県  
子ども・子育て応援  
市町村交付金  
取組事例【第2版】



こども  
まんなか

みんなでつくろう!こども・子育てに優しい信州

令和8年4月

# 子ども・子育て応援市町村交付金とは

長野県では子どもを生み、育てる世代の安心と幸せを実現するため、子育て家庭の経済的負担の軽減を進めています。

令和6年度には新たな支援制度である「子ども・子育て応援市町村交付金」を立ち上げました。

この交付金により、市町村が独自に取り組む子育て家庭を支援する事業に対し、県がその事業にかかる経費の1/2（上限あり）を負担します。

## ◆子ども・子育て応援市町村交付金事業

令和7年度予算額 198,965千円

# 「子ども・子育て応援市町村交付金」を活用して市町村が取り組む 子育て支援事業の一部をご紹介します

---

01 「こども商品券」をこども1人あたり5万円分贈呈（東御市）

---

02 地元ブランド米（鈴ひかり）10kgを配付（松川村）

---

03 副食費の実費徴収に係る費用負担の軽減（諏訪市）

---

04 村内の子どもたちに絵本を贈呈（豊丘村）

---

05 乳児用防災セット配布事業（木曾町）

---

06 病児・病後児保育の利用料補助（原村）

---



# 01 「こども商品券」をこども1人あたり5万円分贈呈（東御市）

4か月児健診時に、こどもに関する商品の購入に使える「こども商品券」をこども1人あたり5万円分贈呈しています

こども  
まんなか

みんなでつくろう!こども・子育てに優しい信州



長野県担当者

取組を始めたきっかけや背景を教えてください。

次期子ども・子育て支援事業計画策定のための子育て家庭へのニーズ調査で、『東御市は子育てがしやすいまちだと思いますか』という設問に対して、『子育てしやすすくない』と回答した方は『経済的な支援への不満』を挙げている割合が高く、経済的支援が市の子育て支援の評価を下げている一因と考えました。

また、少子化も進んでいる昨今、「東御市でこどもを産み育てたい」、また、「産んで良かった」、「子育てして良かった」と思っただけの施策として事業の実施に至りました。



東御市担当者



ここがポイント！という部分はありますか。

前段のニーズ調査で、『市がどんな子育て支援をしているのか伝わってこない』、『困った時、どこに相談すればいいかわからない』というお声をいただいていた。

また、子育て支援センターの利用者増も課題の一つとなっています。

そのため、4か月児健診でこども商品券をお渡しする際、市の子育て支援施策をまとめたチラシや、『子育て支援センターデビューの日』のお誘いの手作りカードを、子育て支援センターの保育士からお渡ししています。一度会ったことがある保育士がいることで、子育て支援センターに保護者が来所した際の安心感につながっていると感じています。



## ◆利用した方の声

- ・ミルクやオムツ代にあてられて嬉しい。市民としても、キッズギフトカードなので子どものためという用途がはっきりしていていいと思う。
- ・実際に商品券を貰えたこと、とてもありがたく思います。ただ、使えるお店がとても限られていて、いつも利用してるお店がほぼ無く、少し使いづらさも感じています。



# 02 地元ブランド米（鈴ひかり）10kgを配付（松川村）

年少から年長児へ地元ブランド米(鈴ひかり)10kgを配付しています

# こども まんなか

みんなでつろう!こども・子育てに優しい信州



長野県担当者

取組を始めたきっかけや背景を教えてください。

物価高騰に対する子育て支援が村で何かできないか、と検討を始めました。村では令和6年7月から村内小中学校の給食費完全無償化を実施しており、さらに学校給食でも村の特産米を使用しています。保育園の給食に米飯を持参してもらっている年少から年長児にも村の美味しいお米をたくさん食べてもらいたいという思いから、全員に配付しようと決定しました。



松川村担当者



工夫した点、苦労した点を教えてください。

新規事業としての実施であったため、配付の方法をどうするか、どうすれば思いが伝わるかを検討し、直接子ども達や保護者の方の顔を見てお渡ししたいということになりました。



お米はどのように渡したのですか

村にある認定こども園の朝夕の送迎の際に、村長・副村長・教育長が直接お渡しし、村外の幼稚園などに通園する園児のご家庭には、村職員がお届けしました。米袋に自作のステッカーを貼り、事業の趣旨やメッセージを届けました。



たくさんたべて  
おおきくならうね

こちらのお米は特別栽培米“鈴ひかり”です。特別栽培米とは一般的なお米の生産方法の基準に加え、農薬や化学肥料の使用についての厳しい規定を守り栽培されたお米のことです。松川村では、この特別栽培米や、化学肥料・農薬を使わない有機米を学校給食で提供しています。

年少児から年長児までのお子さんを対象に、松川村の美味しいお米をお贈りします。まつかわっ子の元気で健やかな成長を応援します!



まつかわむら  
松川村

# 03 副食費の実費徴収に係る費用負担の軽減（諏訪市）

副食費の増加分を市が全額負担し、保護者の負担を軽減しています



長野県担当者

取組を始めたきっかけや背景を教えてください。

物価高騰に伴い子育て世帯の家計負担が増している中、3歳以上児のほぼ全てが保育所等を利用している保育所給食の提供に要する費用も増加しており、保育所給食の質と量の維持と保護者負担の軽減を図る必要があったためです。



工夫した点、苦労した点を教えてください。

長野県の子ども・子育て応援市町村交付金を活用させていただき、令和6年度の新規事業としてスタートしました。(令和6年度3月補正予算に計上)  
保護者負担の軽減(=公費負担)の金額をいくりにするかなどを検討し、前年度の公定価格(副食費徴収免除加算)と市の副食費金額の差額としました。



諏訪市担当者



## ●絵本×食育のコラボレーション>「おはなしきゅうしょく」



※タコライス  
※きんぎょがにげたスープ  
※諏訪市では主食(ごはん)を自園調理しています。



- 「おたのしみ給食」
- ・年長児の希望献立
- ・人気の給食メニューを特別にアレンジして楽しんでもらっている。
- ※トッピングカレー
- ※糸寒天の酢の物  
(諏訪の郷土食「寒天」も「郷土食の日」などで定期的に提供することで人気のメニューとなっています)
- ※おやつ:お楽しみホットケーキ

## 04 村内の子どもたちに絵本を贈呈（豊丘村）

誕生日をむかえた子どもたちに村から絵本を贈呈しています



# こども まんなか

みんなでつくろう!こども・子育てに優しい信州



長野県担当者

取組を始めたきっかけや背景を教えてください。

平成8年、当時教育委員長をされていた「毛涯章平先生」の、『豊丘村民憲章の一つ「教育を重んじ、文化の香り高い、平和な村」の精神を基にして「村の将来を担う子どもたちの健全育成を願って、誕生日祝いに本を送り人材育成100年の計として位置づけたい」との思いから、小中学生対象の誕生日図書事業が始まりました。その後、平成15年度から1歳の誕生日に「ファーストブック」、平成18年度からは保育園児4歳から6歳に「誕生日絵本」を贈呈しています。

2歳・3歳の誕生日を迎えるお子さんについては、これまで贈っていなかったのですが、「子ども・子育て応援市町村交付金」を活用させていただき、令和6年度から2歳・3歳児にも誕生日絵本を贈呈するよう拡充しました。



豊丘村担当者



ここがポイント！という部分はありますか。

贈呈する絵本、「ファーストブック」は村図書館司書が初めて出会う絵本として適したものを8冊選定し、その中から保護者が選んだ2冊を贈っています。2歳から6歳のお子さんに贈呈する絵本は、村保育園の保育士が子どもの年齢に合わせ、親子で読み触れて欲しい絵本を選定し1冊ずつ贈っています。

1歳から3歳までのお子さんには、乳幼児健康診断の際、子育て支援係が一人ひとりの名前を呼んで手渡しています。子育て支援係が関わり声をかけることで、子育て家庭とのつながりを持てるよう配慮しています。また、4歳から6歳のお子さんには、毎月の保育園誕生日会の際、教育長から一人ひとりに手渡しで絵本を贈っています。



絵本を受け取った皆さんの反応はいかがでしたか

【子どもたちの姿】

・園児は、自分だけに渡してもらうこの1冊の絵本をととても喜び、友だち同士見せ合ったり、すぐに広げて見ている姿があります。

【保護者の声】

・どんな絵本を選んだらよいのかわからないので、子どもが喜ぶ絵本をもらえてうれしいです。

・誕生日にプレゼントしてもらった自分だけの絵本ということ子どもがとても喜び大事にして、親子で何度も読み返しています。



# 05 乳児用防災セット配布事業（木曽町）

災害時に備え、乳幼児に必要な備蓄品等を子育て家庭に配布しています



# こども まんなか

みんなでつくろう！こども・子育てに優しい信州



長野県担当者

取組を始めたきっかけや背景を教えてください。

各家庭の災害への意識やローリングストックをしていただくきっかけづくりとして、取り組みが始まりました。また、家庭での備蓄は乳幼児の分まで十分に用意できるかは各家庭によってことなることも背景としてあり、一律の災害への用意を目的としています。



工夫した点、苦労した点を教えてください。

子育て家庭の負担軽減を目的とする県の「子ども・子育て応援市町村交付金」を活用させていただき、令和6年度新規事業として開始しました。（令和6年9月補正に計上）町の一般財源分は、児童福祉費の県補助対象の拡充による財源を見込みました。



防災セットを受け取られた方の反応はどうでしたか。

防災セットを受け取られた方はとても喜ばれた様子でした。ただ、重量に関する意見も多少ながらいただきました。



事業を実施してよかった点は何ですか。

自分のお子さんの災害に対する意識の向上につながったことがひとつ良かった点としてあげられます。今回の事業ではローリングストックも視野に入れたものであるため、保護者の方にお渡ししたリュックが日頃の備えの足がかりになればと考えております。



木曽町担当者



## 06 病児・病後児保育の利用料補助（原村）

諏訪地域に所在する病児・病後児保育を利用した場合に、施設利用料を補助しています

こども  
まんなか

みんなでつくろう!こども・子育てに優しい信州



長野県担当者

取組を始めたきっかけや背景を教えてください。

村内には病児・病後児保育施設がなく、近隣市町の施設を利用いただくことになることになったため、保護者には距離的・経済的負担がありました。この負担を可能な限り減らして、安心して子育てできる環境を整えるために新規事業として開始しました。



利用された方の反応や利用状況はどうでしたか。

「体調不良時にも子どもを預けられるのはありがたい」「無償だと利用しやすい」とのお声をいただいています。一度利用された保護者が繰り返し利用いただくことが多いので、まだ利用したことがないご家庭への広報に力を入れていきたいです。



事業を実施してよかった点は何ですか

「こどもが急な病気でも預けられる」という安心感を保護者のみなさんに持っていただけになり、村内の“子育てのしやすさ”を高めることに大きく寄与している点が、事業を実施して良かった点です。また、保護者が仕事を休まずにすむなど、家庭や職場の負担軽減にもつながっており、子育て世帯の生活を支える実感のある施策となっています。



原村担当者

